

2025 年度 写真専門部夏季講習会

8月7日（木）に伊那弥生ヶ丘高校で、また8日（金）に松本市勤労者福祉センターで夏季講習会を実施しました。7日は南信地区から4校・約30名が、8日は東北中信地区から9校・約60名の生徒また顧問が参加しました。両日とも東京工芸大学芸術学部の勝倉峻太先生と原向日葵先生が講師を務めてくださいました。



午前中は勝倉先生から写真を撮る上で重要な7つのポイントについて講義をしていただき、それから著名な写真家の作品をお手本にして交代でポートレート撮影（模写）を行いました。午後は午前中に撮影した作品を講評していただいた後、先生から出された条件に沿って各自が撮りたい場所やポーズで人物を撮影しました。参加者たちは撮影用のライトも使用して、構図や光の当たり方などを考えながら熱心に撮影に取り組んでいました。午後の実習では、撮影した写真を積極的に先生に見せに行く姿も見られました。最後に勝倉先生は（コンテストで入賞することも目標の1つではありますが）「皆さんにとって大切だと思うものや本当に興味があるものを是非撮ってもらいたい」とおっしゃっていました。今回の講習会で学んだことを今後の作品制作に大いに活かしてもらえればと思います。



◎撮影の際に考慮すべき7つのポイント（勝倉先生の講義から）

- ①絞り（F値） ②シャッタースピード ③フレーミング／構図 ④アングル／角度
- ⑤ピントを合わせる位置 ⑥シャッターを切るタイミング ⑦光（順光・サイド光・逆光など）